

平成28年(2016年)熊本地震における道路橋の復旧支援

熊本復興事業における道路の復旧への貢献

- 阿蘇地区における阿蘇大橋周辺は観光や物流の重要な交通基盤が集中する箇所となっている
- 道路法等に基づく直轄代行により、高度な技術を要する復旧工事について、円滑かつ迅速に実施することが要求された

土木研究所の対応	平成28年度							平成29年度以降
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月～	
TEC-FORCEの派遣 など現地調査	熊本地震発生 (4/14,16) のべ、37班263人日 (国総研合同 4/16～7/30)  土研による現地調査および調査報告の様子(H28. 4月)							
復旧の推進								
阿蘇大橋 道路法に基づく直轄代行 〔国道325号ルート・構造 に関する技術検討会〕		第1回 ルート検討 (5/10)	第2回 架け替え 位置の決定 (7/5)	第3回 橋梁形式の決定 (7/29)			第4回 設計の最終確認 (H30/3/23)	新阿蘇大橋 供用開始 (R3/3/7)
長陽大橋ルート 大規模災害復興法による直轄代行 〔復旧工法を検討する プロジェクトチーム(PT)〕			活動開始 (6/14)	構造物別(橋梁・トンネル・土工)PTで検討			長陽大橋ルート応急復旧 (H29/8/27)	



橋梁PTによる復旧方針の検討の様子 (H29)



長陽大橋ルート 応急復旧 (H29/8/27)



阿蘇大橋の供用開始 (R3/3/7)

※ 国土技術政策総合研究所資料および九州地方整備局熊本復興事務所HPより土木研究所が作成